2019 年度

第 56 回旭川東高等学校東京同窓会総会・懇親会

開催報告

2019 年 7 月 6 日、ハイアットリージェンシー東京に於いて開催しました「第 56 回旭川東高等学校東京同窓会 総会・懇親会」についてご報告いたします。

早朝から時折降っていた小雨も午前中のうちにすっかり止み、正午過ぎから続々と参加者が来場し、最終的には、ご来賓 8 名を含めた 194 名がご参加されました。

今回の開催テーマは「REVIEW」。令和への改元に合わせ、昭和、平成など各元号時代の高校生活をレビューする（振り返る）のコンセプトそのままに、総会・懇親会では同窓生の皆様が年代を問わず楽しく交流される様子が多数見られ、終始賑やかな会となりました。

1. 開催概要

日時:　2019 年 7 月 6 日(土) 13:30~16:00
場所:　ハイアットリージェンシー東京 B1F センチュリールーム
　〒160-0023 東京都新宿区西新宿 2 丁目 7-2（TEL: 03-3348-1234)
テーマ:　「REVIEW」
参加人数: 194 名
　当番幹事期（41 期）: 26 名
　旭川から参加した東高同窓会幹事期（51 期）: 2 名

2. 内容詳細

開会を待ちながら・・・

既にご来場された皆様が、個々に交流されたり、会場後方に設置された Review 掲示板やリレーノートを閲覧されたりしました。

開会を待つ参加された皆様

総会

例年同様、冒頭の 20 分間で総会が執り行われました。高木宏明会長からの同窓会にご参加の皆様への歓迎メッセージに続き、山下明彦事務局長より平成３０年度会務・会計の報告が行われ、拍手をもって承認を得ました。

懇親会

懇親会の開始にあたり、3 名のご来賓の方々からご挨拶を頂戴いたしました。今年春に東高の校長に就任したばかりの小林為五郎先生からは、近年の東高生の様子などをお話いただきました（東高の学校祭と東京同窓会の総会・懇親会の日程が重なったにも関わらずご出席いただきました）。

旭川東高同窓会会長の荒井保明様からは、昨今の旭川の様子ならびに旭川同窓会の開催状況のお話がありました。札幌突兀会の副会長の畠山隆史様は、6 月に開催されたばかりの突兀会などについてお話いただきました。また、旭川東高同窓会の副会長の山城晋一様、旭川東高同窓会の会計担当の奥村章一様、札幌突兀会の副会長の菅原明子様、旭川東高同窓会の事務局長の原徳之先生、元東高教諭の清末定子先生の計 8 名の方々が、遠方より駆けつけてくださいました。

小林校長先生

乾杯の挨拶をする加藤様

乾杯のご発声は、東高 7 期卒業生　加藤桂子様でした。乾杯に先立ち、東高と同じ住所で生まれたこと、東高で教鞭を執られていたお父様のことなど、ご自身と東高の長い繋がりをユーモア交えてお話いただき、和やかな雰囲気の中、懇親会がスタートしました。

音楽部の練習映像

歓談に入って間もなく、東高の現役音楽部の練習映像を流しました。音楽部は２０１８年度のＮＨＫ全国学校音楽コンクールで銅賞を受賞するほどの実力です。「銀河鉄道 999 のテーマ曲」と「世界に一つだけの花」を歌う美しいハーモニーが会場一杯に響き渡り、現役生の頑張りに、懇親会場では目を細める姿が多数見られました。

ご協賛品と記念品も紹介させていただきました。参加者全員にお渡しした協賛品は、ギフトカードの定番「QUO カード」をスマートフォンなどに取り込んで使える電子版「QUO カード pay」です。QUO カードのロゴと東高の校章を合わせたデザインで、スマホの待ち受け画面にも設定できる特典付きでした。ほかにコカコーラ各種ノベルティグッズと、日本テレビで今春放映されたドラマ「白衣の戦士」オリジナルノートのいずれも、企画クイズの上位チームへの賞品とさせていただきました。

また、東高正面にありました老舗茶店・吉川園を引き継いで創業した茶カフェ「USAGIYA」さんには、同窓会オリジナルパッケージの「兎茶ティーバッグ」の詰め合わせの製作を依頼し、参加者全員への記念品としました。

各種協賛品と記念品

REVIEW 企画のひとつは、現在国内外の大舞台で活躍されている、現役生と卒業生からの様々なメッセージ紹介でした。

陸上女子期待の星　北口さんインタビュー

まずは、今年 5 月に女子やり投げで日本新記録を打ち立てた東高 66 期生の北口榛花（きたぐち・はるか）さんの記録樹立時の大会映像とインタビュー映像を紹介しました（現在は 9 月にドーハで開催される陸上世界選手権 2019 に向けて猛練習中です）。懇親会場でご参加の皆様が映像を食い入るように見つめ、64.36mの大記録が出た瞬間に「おお～！」と歓声が上がりました。

それから、漫画家として現在も第一線で活躍されている東高 23 期生の寺沢武一（てらさわ・ぶいち）さんと、33 期生の藤田和日郎（和宏）（ふじた・かずひろ）さんからのメッセージも紹介しました。

漫画「コブラ」が人気！寺沢さんからのビデオメッセージ

寺沢さんはご病気による影響がある中でビデオメッセージを提供くださり、秋の新作発表への意欲も語られました。

先述の音楽部が提供してくれた映像には、東京同窓会へのメッセージもありました。全国大会出場を応援する寄付などへのお礼や、今後の意気込みが語られ、懇親会場には皆様の笑顔があふれました。

卓球が趣味、今も元気な清末先生

東高全日制で 15 年間、化学の教職にあった清末定子先生にも急きょ挨拶をしていただきました。学生時代にお世話になった卒業生も大変多く、清末先生に握手を求めたり、写真や動画を撮影したりする姿が多数見られました。

REVIEW の一番の目玉企画、「東高 REVIEW クイズ」は大盛況でした。卒業年次の異なる混合８チームが昭和、平成を通じた東高の歴史をレビューする（振り返る）ことができる難問１４問に挑みました。出題分野は校訓、校歌、部活動、見学旅行（修学旅行）、時間割、過去の学生意識調査結果など多岐にわたりました。余談ではありますが、事前の問題作成作業では、幹事期４１期代表の清末有宏が旭川の東高五本松資料館を訪れ、原徳之先生の御協力を得て東高１００年史などの資料を集め、参考としました。

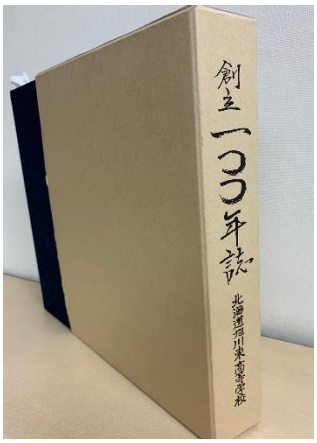
クイズが書かれたスクリーンを真剣に見つめる皆様

クイズが始まり、回答が発表される度に歓声とどよめきが上がりました。クイズ中盤までは優勝が複数チームになるのではと思えるほどの大接戦。現役教諭と来賓の方々が多い 2 番テーブルチームが最後の数問で抜け出し優勝となりました。2 位、3 位も僅差でした。

これまで面識のなかった先輩後輩が一丸となって、懐かしい高校生活を思い出すクイズ問題に挑み、考え、笑う、大変楽しい機会となりました。

クイズの結果に一喜一憂！

優勝チームには 100 年誌を贈呈！



いよいよ会も終盤。旭川中学の校歌の映像の後、東高校歌を全員で歌いました。今年の突兀会で使用した音楽部の映像に合わせて、32 期片山徹史さんの指揮の下、参加者の歌声が一つになりました。

校歌の後、今回幹事期の 41 期の代表清末有宏が挨拶しました。

そして最後に、東京同窓会の山川智副会長の三本締めで閉会。記念撮影後、解散となりました。

指揮にあわせみんなで声高らかに

3. 結言

参加者総数が最終的には 200 名に達しなかったものの、幅広い世代間の交流が深まる総会・懇親会を開催できました。同窓会への参加者数が減少傾向にある中、公私共に一番忙しいとされる３0～50 期代の卒業生が多数ご参加いただき、懇親会を盛り上げてくださいました。

当日ご出席の皆様、ご寄付や広告の御協力をいただいた皆様、記念品や協賛品を提供していただいた皆様、本会の準備にご尽力いただいた先輩後輩の皆様に厚く御礼申し上げます。

来年は東京で 56 年ぶりにオリンピックが開催され、競技者と関係者はもちろんのこと、世界中から観光客

が東京に集います。そうした熱狂に後押しされ、来年の総会・懇親会がご盛況となることを祈念します。

「シマレ、ガンバレ」を合い言葉に、今後とも御支援をよろしくお願い申し上げます。

旭川東高等学校東京同窓会 当番幹事 41 期